

計画期間 2018-2022

あいち多文化共生

推進プラン

2022

あいちの多文化共生をデザインする



「外国人児童生徒等による多文化共生日本語スピーチコンテスト」表彰式（2017年8月）

『あいちの多文化共生をデザインする』

1989(平成元)年に、出入国管理及び難民認定法が改正され、在留資格の中に、日本での就労が自由な「定住者」資格ができてから、ものづくりの盛んな本県においては、日系ブラジル人を始めとした、いわゆるニューカマーと呼ばれる方たちが急増しました。

あれから、四半世紀以上の時が過ぎ、幼い頃、親に連れられて日本にやってきた子どもたち、あるいは、日本で生まれた子どもたちは、成長して大人になり、中には、結婚して親になられた方もいることでしょう。また、働き盛りの年代で日本にやってきた方たちは、歳を重ねられ、老後のことを考えるようになってきた頃だと思えます。

こうして、若い世代がこの地域で活躍し、次の世代へと引き継がれる時代となったことを考えると、本県として、外国人県民の方々に対して、乳幼児期から老後まで、ライフサイクル全般を見渡して、施策をつないでいく必要があると考えます。

「つなぐ」という視点では、日本人県民と外国人県民をつなぐことも考えていかなければなりません。少子高齢化が進む中、外国人の方がいなければ自治会活動がうまくいかない地域もあります。また、大規模な災害が発生した時には、若い外国人の方の力がとても頼りになります。

しかしながら、日本人県民の中には、外国人県民に対して苦手意識を持っている方もいらっしゃいますので、お互いの理解を促進し、日本人県民と外国人県民をつなぎ、さらには、地域と外国人県民をつないでいくことも必要です。

本プランでは、こうした課題に対して、有識者からの御意見をいただくために、『新あいち多文化共生推進プラン(仮称)』検討会議を開催しました。また、県民の皆様の声を聞くために、地域に出向いてタウンミーティングを開催し、さらに、次代を生きる高校生から提言をいただくための機会も設けました。このように、幅広く御意見を伺いながら、本県の多文化共生の姿を描くことができたのは、本プランの大きな成果であり、貴重な御意見をいただいた多くの皆様方に対し、深く感謝いたします。

多文化共生の実現は、本県の活力を生み、未来や希望へとつながります。今後とも、県民の皆様とともに、本県の多文化共生をデザインしていきたいと考えております。引き続き、御協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2018年3月

愛知県知事
大村秀孝



表紙デザインのテーマ

日本人県民、外国人県民が縦糸・横糸となって多文化共生社会を織り成していくことをイメージしている。

あいち多文化共生推進プラン 2022
～あいちの多文化共生をデザインする～

2018年3月

愛知県県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話：052-954-6138（ダイヤルイン）

FAX：052-971-8736

E-mail：tabunka@pref.aichi.lg.jp

<http://www.pref.aichi.jp/syakaikatsudo/tabunka.html>

<https://www.facebook.com/Aichitabunkakyouseinet>

あいち多文化共生
推進プラン2022
あいちの多文化共生をデザインする

計画期間 2018-2022



あいち多文化共生ネット



facebook

